

竹原 正人 議員（代表質問）

1 市長提案理由説明の内容について

- (1) 今定例会で、消防団の充実強化を図るため、配備から20年経過した西加積分団消防ポンプ車を更新する予算が計上されているが、市内には20年経過してまだ更新していないポンプ車が存在する。今後の対応はどうか見解を伺う。
- (2) タラソピア、青雲閣の両施設の年度末の機能廃止を踏まえ、現在サウンディング型市場調査の参加者を募集しているが、もうタイムオーバーな気がする。タラソピアについてはすでに閉館となっていることから、十分な議論をして方向性を決めるため、年度末にこだわらず、時間をかける必要があるのではないかと考えるが、見解を伺う。
- (3) 夏休み期間中、サマースクール「なめりかわ未来学校」と題して事業実施をされたことについて
 - ア 当初、参加者は手上げ式と伺っていたが、参加人数を含めて想定どおりであったのか。
 - イ 4日間の体験学習であったが、事業内容と参加者の感想も含め、どのように捉えているのか。
 - ウ 今後も継続して取り組むのであれば、次年度からは教育委員会が担うべきと考えるが、対応はどうか。

2 熱中症対策について

- ・ 今年の夏は梅雨明け後、猛暑日が1か月以上も続き、雨もほとんど降らない異常気象であった。連日熱中症アラートが発令され、「不必要な外出を避け、こまめな水分補給とクーラーをつけた部屋で過ごして下さい」といった文言をよく耳にした。
 - ア 防災無線の音が小さく何を言っているのかわからない。対策できないか。
 - イ 熱中症アラートの発令下、屋外あるいは、エアコン設備のない屋内での様々な行事について、市が主催したものはどのくらいあったのか。
 - ウ 来年以降も異常気象は続くと考えられることから、熱中症対策について、一定のルールを作り、様々な行事の開催可否の指針を統一するべきと考えるが、見解を伺う。

3 ふるさと龍宮まつり海上花火大会 について

- (1) 今年の花火大会の協賛状況については、概ね予定どおりと伺ったが、市制70周年記念として予算を上積みしての今回の実績である。次年度以降、更に価格高騰の煽りを受けるのは必至と考えるが、「正三尺玉の打ち上げができなくなるのでは」との実行委員会からの声もある。今後、市としてどのような対応をしていくのか見解を伺う。
- (2) 今回、コロナ明けでもあり、大勢の見物客で賑わった。かなりの苦情があったと聞いたが、実際の苦情内容の把握と次回への対策等はどのように考えているのか。
- (3) 6月にふるさと納税の返礼品として、「花火大会の観覧席」が追加され、前回の定例会では実績は無いと伺っていたが、結果はどうであったのか。

4 なめりかわ二十歳の式典について

- (1) 成人式が「なめりかわ二十歳の式典」に名称変更となったが、来年はいつ、どこで行う予定としているのか。
- (2) 例年第2日曜日が成人式となっているが、午前10時開式では、美容院や着物の着付けなど慌ただしいと考える。いっそのこと県外で生活している学生もたくさんいることから、実家に帰省している最中の1月第1土曜日の午後からに日程を変更し、参加しやすい環境を整えることも必要と考えるが、見解を伺う。

中川 勲 議員（代表質問）

1 観光施策について

- (1) 越中にかわ観光圏を2015年に退会し、今年の6月29日再加入されたが、なぜか。
- (2) 富山湾岸クルージングのコース拡大は考えていないか。
 - ア 入善町の風力発電所風景の見学コースはどうか。
 - イ 冬期間の運航は現在どうされているか。
- (3) 滑川海浜公園キャンプ場の利用状況について
 - ア 利用実績はどうか。
 - イ 年間の利用期間は。
 - ウ 市民からの指摘・改善案にどう対応されたか。

2 市職員・教員の働き方改革について

- (1) 市職員や教員の労働時間の短縮は進んでいるか。
- (2) 教職員の給与特別措置法があるとのことだが、どういう制度か。
- (3) 部活動の地域移行は進んでいるか。

3 住宅施策について

- (1) 公営住宅の入居状況はどうなっているか。
- (2) 入居の少ない公営住宅についてどのように考えるか。
- (3) 上市町の「0円空家バンク制度」が全国から注目を集めている。滑川市でも検討できないか。

4 農業について

- (1) 滑川市のこれからの農業について、どのように考えているか。

- (2) 米作のみに頼る農業から、野菜、果樹、そば等も生産する農業に力を入れてはどうか。
- (3) 農業従事者の高齢化が深刻化している。最新型の農業機械の導入などにより、若い人にも魅力あるスマート農業への取組に支援をするべきと思うがどうか。
- (4) 家庭などで剪定した木など細かくして腐らせ肥料にする取組ができないか。

安達 真隆 議員（一般質問）

1 みのお温泉について

- (1) 温泉が供給されなくなっているが、現在の状況を問う。
- (2) 早月川温泉開発株式会社を滑川市で買い上げて運営するなどの考えはないか。
- (3) 現在の名称は、みのお温泉であるが、現状は沸かし湯となっている。今後、温泉が供給されないのであれば、名称変更も考えるべきではないか。

2 滑川市の水道事業について

- (1) 水道検針機の設定変更の際し、誤って8月分の水道検針データを消去した件について
 - ア 月の使用量（立方メートル数）によって水道料金が上がっていくが、それについて市民に説明周知されているか。
 - イ 今後の滑川市としての対策を問う。
- (2) 今年の猛暑で滑川市の水道は大丈夫か問う。
 - ア 今年の冬のように断水になるおそれはないのか。
 - イ 早月川が干上がっているが大丈夫か。
 - ウ 給水車はいつ導入されるのか。
 - エ 井戸水の持ち主と協定を結ぶなどの協議はしているのか。

3 ゼロカーボンシティ宣言について

- (1) 市役所庁舎内にEV充電スタンドの設置をしてはどうか。
- (2) 石川県加賀市の「OFFON（オフオン）」のように、EV充電スタンドや公用EVをセットで整備し、使用しない夜間や休日に公用EVをカーシェアするシステムを検討してはどうか。

水橋 真治 議員（一般質問）

1 学校教育について

(1) 働き方改革について

- ア 市内小中学校教員の勤務時間管理や健康管理は適切に行われているか。
- イ 市内小中学校の部活動の地域移行は円滑に行われているか。
- ウ 市内小中学校の業務改善は適切に行われ成果を上げているか。

(2) 「なめりかわ未来学校」について

- ア 成果と課題は何か。
- イ 滑川の教育に取り入れる予定はあるか。

(3) 将来の滑川市の小中学校の統合について

- ア 平成26年から令和4年までの間の出生数から予想される市内小中学校の規模について伺う。
- イ 統合に向けての協議について伺う。

2 移住・定住の促進について

- (1) 令和4年度に、オンラインや電話、窓口で移住希望者からの問合せは何件あったのか。
- (2) 令和4年度の移住件数・事業費の実績はどうか。
- (3) 今後この施策をどのように進めていくのか。
- (4) 「富山サテライトオフィスバレー」の構想に基づくサテライトオフィスの誘致について伺う。

3 「滑川市版スマートシティ」の実現に向けて

(1) 滑川市のDX推進計画について

- ア 情報セキュリティ対策の現在の状況について伺う。

イ 本市のホームページをより使いやすくするためのリニューアルについて伺う。

(2) まちづくりDXについて

ア 様々な事業主体等が連携してデジタルの活用を検討する場（ラウンドテーブル）について伺う。

イ 行政と医療、介護の事業者間の連携を図るDXの推進についての考えを伺う。

4 生涯現役社会の実現へ向けて

(1) 高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活できるため、どのような取組を行っているか。また、その実績等をどのように評価しているか。

(2) 高齢者の生きがいづくりと働き場の創出について伺う。

吉森 真人 議員（一般質問）

1 滑川市の防災対策について

- (1) 8月20日に行われた防災訓練について
 - ア 参加人数はどれくらいだったのか。
 - イ なぜ、西地区、東地区だけを対象としたのか。また、来年度の開催地区はどこなのか。
 - ウ 訓練を行った結果の課題点、問題点を問う。
 - エ ペットも対象とした訓練を行うべきではないか。

- (2) 滑川市内の指定避難所について
 - ア 公共施設が大半であり日常管理は行っていると思うが、避難所として利用するための管理はどのように行っているのか。
 - イ ペットの同伴が可能な避難所を指定すべきではないか。
 - ウ 実際の避難時が、今年のような猛暑の場合の対策は想定してあるか。

2 小中学校の施設について

- (1) 学校に設置されている太陽光発電機について
 - ア 稼働していない、発電量が少ない等聞くが、管理及び点検はしているか。
 - イ 取換えや修理を検討すべきではないか。

- (2) 空調設備について
 - ア 古い設備が多く、効きが悪かったり、稼働しなかったりすると聞くが、修理や入替えの検討はされているか。
 - イ 来年度以降も猛暑は続くと思われる。避難所にもなり得る体育館に空調を整備してはどうか。

3 L G B T Q について

- (1) 「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」（L G B T 法）が令和5年6月23日に公布、施行されたが本市としての対応を問う。

- (2) 学校教育においてどのように進めていくのか問う。

(3) 早月中学校では、セーラー服用のスラックスを導入したが、他の制服を利用している小中学校は、どうしていくのか。

原 明 議員（一般質問）

1 東福寺野自然公園について

- (1) 青雲閣では、東福寺野自然公園内の施設予約、受付等の業務が行われているが、令和6年度の予約や案内説明はどのようになるのか。
- (2) 公園利用者の増加に向けて、新しい遊具の整備や小中学生の入園料無料を検討できないか。

2 「ラーケーションの日」制度導入について

- ・ 愛知県では、家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するため「ラーケーションの日」をスタートさせた。本市で検討できないか。

3 HPVワクチン接種率向上の取組について

- (1) HPVワクチン接種率向上についてどのように取り組むのか。
- (2) 定期予防接種は実施しないのか。
- (3) キャッチアップ接種について、見解を伺う。
- (4) 男子への接種について、見解を伺う。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 学校給食費の公会計化について

- ・ 文部科学省は、令和元年に策定した「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」の中で学校給食費の公会計化を推進している。教員の働き方改革が急務となっている中、学校給食費の公会計化に早急に取り組むべきと考える。
 - ア 学校給食費の公会計化を進めることとなった社会的背景とその目的を伺う。
 - イ 現在、滑川市は「自校方式」ではなく「センター方式」による給食であるが、導入にあたり、どのような影響があると考えられるか。
 - ウ ガイドラインには多くの課題が示されているが、導入にあたり、具体的な課題となるのは何か。
 - エ 学校給食費の公会計化について、早急な対応を市町村に要請されていると聞く。これを受けて今後、どのように対応していくのか伺う。

2 滑川市のDX推進について

- (1) 水道検針データ消去のミスがあったが、料金徴収の負担を軽減し正確性も高める「水道スマートメーター」等の技術があると聞いている。こうしたシステム導入を検討すべきであると考えますが、どうか。
- (2) 児童・生徒の身体測定システム等を導入し各学校で成長記録を管理することにより、教育現場での活用も考えられるが、どうか。
- (3) 保育園や認定こども園に通う0歳児や1歳児の安全を確保するため、「着衣型IoTセンサー」による園児見守りも考えられるが、どうか。
- (4) 滑川市は、今後どのような分野にどのような効果を期待してDXを推進しようと考えているのか伺う。

3 ゼロカーボンシティ宣言について

- ・ 今定例会の市長提案理由説明の中で「ゼロカーボンシティ宣言を表明」とあるが、市民には何をどのように考えたらよいのか分かりづらい。目標やゴール、取組をすごろくのような目に見える図表にし、市民の皆さま

んに分かりやすく表現してはどうか、伺う。

4 保育士・介護士の人材確保について

- ・ 保育士・介護士は命にかかわる仕事であり、資格が求められる。一方で、市内のどの施設も人材不足で困っていると聞く。
 - ア 保育士・介護士の充足状況は非常に厳しいが、市はどのように現状把握し、どのように認識しているのか、伺う。各施設へアンケート調査を実施してはどうか。
 - イ 例えば、まずは滑川市職員として採用し、育児休暇代替職員等としての対応や、公務員の身分を保持したまま市内施設へ派遣し、かかる経費は派遣先事業所が負担するような制度は考えられないか。

5 施設の活用について

- ・ 滑川中学校横の「文化財体験学習館」は現在、どのように活用されているのか。

6 今夏の猛暑を踏まえて

- ・ 今夏はこれまでにない異常な猛暑であり、毎日の市からの注意喚起や防災無線での呼びかけなど、とても効果的であったと思う。
 - ア 熱中症など、気温にかかわる症例は例年に比べてどうであったのか、伺う。
 - イ 電気料金が高騰していることから、今冬の灯油代金補助のように、滑川市独自で電気料金補助は考えられないか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 防災について

- ・ 5月に能登地方を震源とする大きな地震があり、7月には立山町や呉西地区などを中心に豪雨災害の大きな被害があった。本市は先月20日に町部を中心に市単独での総合防災訓練を実施したところである。
 - ア 今後、総合防災訓練は毎年各地区持ち回りでやりたいとのことだが、年1地区でいいのか。
 - イ 滑川市では自主防災組織はどの程度設立されているのか。
 - ウ 市として自主防災組織設立をどのように推進しているのか。
 - エ 自主防災組織への助成はどのようなものがあるのか。
 - オ 市内に防災士は何人いるのか。県全体ではどうか。

2 子どもたちの安心・安全について

- (1) 通学路点検が8月29日に実施されたと聞く。それを踏まえて。
 - ア 昨年指摘された危険箇所は改善されたのか。
 - イ 今年は何箇所程度指摘があったのか。
 - ウ 点検するメンバーはどのような構成なのか。
- (2) 学校敷地内にある遊具に、使用禁止と書いてあるものが見受けられるがその理由は。修理か、撤去などの対応が必要ではないか。
- (3) 昨年、園児が送迎バスの中に置き去りにされ熱射病で亡くなるという事件があり、このような不幸な事件が二度と起こらないよう、子ども置き去りを知らせる安全装置の設置が求められた。滑川市の装置設置状況はどうなのか。
- (4) 市内の通学路に地下道がある箇所に、防犯カメラなどは設置されているのか。

3 高校生等医療給付費について

- ・ 高校生等の医療費無料化は以前から実施されているが、3月議会の質問で、高校に在籍していない子どもは対象にならないとのことだった。そのような子どもたちほど医療的な手当てが必要であることから医療費

の全面的な無料化の必要性を訴え、「検討する」との答弁だった。その後、
当局の考えと対応は。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 JR城端線・氷見線の再構築検討会の報道について

- (1) JR城端線・氷見線の「あいの風とやま鉄道」への移管の話題が報道されている。「再構築検討会」以前に本市へ働きかけ、意向確認等があったのか。
- (2) 両路線はいわゆる「枝線」で「並行在来線」ではない。JRが運営に責任を持つのが本来ではないか。
- (3) 今後の「あいの風とやま鉄道」の経営全般に影響がないと言い切れるか。

2 「ゼロカーボンシティ宣言」について

- (1) 「区域施策編」の策定にあたって「地域特性を踏まえ」とあるが、「地域特性」とはどのようなことがあげられるか。
- (2) 先行自治体の取組から学ぶべきことはないか。
- (3) 住民、事業者の協力をどう促すのか。

3 学校給食費の無償化、負担軽減と就学援助について

- (1) 全国的に無償化、負担軽減に取り組む自治体が増えている。本市における実施について見解を問う。
- (2) 就学援助等に対応している、とされるが援助が必要な世帯が十分カバーされているか。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 滑川市立小中学校通学区域審議会 における諮問・答申について

- (1) 本年7月28日、8月25日に滑川市立小中学校通学区域審議会が開催され、滑川市における通学区域の設定について諮問された。理由としては、「新たな宅地造成や道路整備及び道路事情の変化もあり、就学前の子供を持つ保護者から通学区域の変更を求める声が続々と上がってきている。令和4年12月には、市議会への陳情、市教育委員会へも正式に要望された。中には、指定校以外を強く要望するため、町内の地番に住みながら町内会のみを変更した例もある。このことは、通常地域コミュニティ形成を考えるうえで好ましくないものとする」というものであり、具体的審議事項として「通学区域の設定に関する規則」を基本とすることは残しつつ、新たに「指定された小学校へ通学するよりも希望する小学校へ通学するほうが通学距離が短い場合」や「小学校において指定校変更をしていた者が通学していた小学校区の中学校へ通学を希望する場合」を加え、指定校変更の申請により許可することとするよう、指定校変更の許可基準を追加し、通学区域の弾力化を図ることとしたいというものであった。審議結果として審議会より答申があり、「これまでの指定校変更基準中、「教育上やむを得ない事情がある場合」を「教育上やむを得ない場合（通学に特別な配慮が必要な場合を含む。）」に変更し、通学区域の弾力化を図りたい」とあったが、特別な配慮の点について教育委員会の解釈を問う。
- (2) 答申の2「配慮が必要な児童生徒については、就学指定校の変更を相当と認める具体的な事由に基づき適切に判断されるとともに、制度の周知に努められたい。」とあるが、就学指定校の変更許可基準の認知度について見解を問う。
- (3) 滑川市立小中学校通学区域審議会の担う役割は、本市におけるさまざまな施策に関連性のあるものであり、意思形成において重要と考える。「情報公開制度」の運用も含め、審議の状況を市民に明らかにしていくことは、市民の市政への信頼と理解を深め、市政への参加を促進するとともに、開かれた市政の推進に資するものである。諮問にあるように、これまで幾度として声上がる課題に対し情報の公開を行ってこなかった。また、今後も公開することはないと聞くが見解を問う。

2 公共施設の管理運営について

- (1) 6月海洋深層水体験施設タラソピアの天井が落下する被害があったところであるが、指定管理者の日々の点検業務等において問題があったのか、または公共施設マネジメントを図る際の各種保全における予算編成による影響であるのか見解を問う。
- (2) 令和2年に滑川市個別施設計画を策定するにあたり、各施設担当課による機能評価並びに簡易劣化診断が実施されているが、屋根や屋上、外壁、内部、電気・機械設備を目視により評価するものであった。公共施設の老朽化を見据え、財政負担の軽減や平準化を目的とし、予防保全を基本とするマネジメントの推進は理解するが、市民が安心安全に利用できる管理運営を行わなければならない。今後専門員による点検・調査の実施や詳細な点検・調査項目の追加等見直しを図るか見解を問う。
- (3) ほたるいかミュージアムに併設されている道の駅売店内では、運営開始以来2社が指定管理者とテナント契約を交わし、現在まで契約更新されている。建設当初のテナント決定までの経緯を問う。
- (4) テナント契約を交わすことによる施設の目的、また達成度に関する評価を問う。
- (5) 株式会社ウェーブ滑川が売店を直接運営した場合の効果に対する見解を問う。

谷崎 潤一 議員（一般質問）

1 滑川市内小中学校における熱中症対策について

- (1) 市内小中学校における熱中症対策と、周知はどのようにしているのか問う。
- (2) 夏季冬季に限り、登下校時の荷物の軽減などは検討できないのか問う。
- (3) 夏休み期間中のプール開放に学校差があったのはなぜか問う。
- (4) 夏休み期間中の中学校の部活動における対策を問う。
- (5) 今後、滑川市は小中学校の熱中症対策をどのように進めていくのか問う。

2 滑川市内小中学校におけるE S D活動について

- (1) 市内小中学校においてE S D活動を取り入れているか問う。
- (2) 市内小中学校においてユネスコスクール加盟を目標としたE S D活動を検討できないか問う。
- (3) 地域E S D拠点等の活用を考えてはどうか。
- (4) 市内小中学校における、子どもたちの学習発表会や研究発表などの交流事業は検討できないか。